



市長モリテツの ほっとトーク

June 2022

コロナ禍に負けないまちづくり

— 地域に元気を、地域で安心を、地域の未来を —

三田市長 森 哲男

今年の春は、3年ぶりに外出自粛の要請が解かれ、まちに活気が少しずつ戻ってきたようです。まだまだ新規感染が出ているため、引き続き万全の感染防止対策を行いながら、定期総会や音楽会などといったイベントが開催されています。私も、各種会議やイベントに招かれる機会が増え、多くの市民の方々に直接お会いできるのが楽しみです。各団体の事業計画を見ても、感染対策を講じながら、コロナ禍前の実施行事を再開しようとする動きがみられるのはうれしいことです。

また、この2年間、市内各地で子ども（地域）食堂を開設する動きが広がってきました。外出自粛が続くコロナ禍で、多世代が集う（人がつながる場）が強く求められているのでしよう。市内各地でも人々が集う様々な動きが出てきました。コロナの収束はまだですが、ウィズコロナを意識し、「地域に元気を」取り戻していきたいと願っています。

そして、コロナ禍でも、日本各地で自然災害は発生します。一人一人が災害への備えを怠らないことはもちろんですが、

災害が起こった時の地域の助け合いも非常に大切です。市内各地で、感染症に配慮した地域防災訓練を行っていただいていることに感謝しています。

現在、市は各地域における災害時の要支援者の避難を支援するため、各個人の「個別支援計画」の策定を進めています。市内全域の対象者は約3千人で、土砂災害警戒区域および洪水浸水想定区域などリスクの高い地域に住む要支援者の方々に優先的に進めています。策定にあたっては、地域の区・自治会のご理解ご協力が不可欠です。万一の災害が起こっても「地域で安心」といえるまちづくりを目指していきたいましよう。

「地域に元気を」、「地域で安心を」の取り組みと共に、「地域の未来」を考えることも必要です。現在、小学校区単位で地域の将来像を描く計画（地域計画）の策定が進められています。既に2校区の計画が決定し、5校区で検討が続けられています。地域計画の策定事業を通じて、地域の方々が集い、つながり、一緒に「地域の未来を」考えていただく機会になればと願っています。

Mayor's Photo Diary



4月22日 三田市を来訪した齋藤知事と三田市のまちづくりについて意見を交わした。



4月25日 関西学院大学神戸三田キャンパスの町名変更記念式典で、村田学長から感謝状を受けた。



5月8日 ウディタウンのゆりのき台に開園した「ほしのさと保育園」の竣工式に出席した。